

# 平成25年度施策評価について

## 1 施策評価の目的・概要

本市では、行政の説明責任の充実、効率的で質の高い行政の推進、成果重視の行政への転換を図るため、事業評価を実施し、行政資源の有効配分など具体的な改善、見直し等を行っています。

これに加え、第八次総合計画の策定年度にあたる今年度は、第七次総合計画の成果を検証するため、各事業を組み合わせた施策が有効に機能しているかを評価する施策評価を実施しました。

## 2 評価対象

第七次総合計画の後期基本計画の基本施策（43 施策）を評価対象とします。  
ただし、地域別目標については評価対象外とします。

## 3 評価の流れ

一次評価（担当部署による評価）

第七次総合計画における取り組みについて、各種指標の推移や市民アンケートの結果をもとに成果や課題を洗い出し、今後の方向性を検討。

二次評価（企画課、総務課、財政課による評価）

担当部署による一次評価を踏まえながら、各施策の課題や今後の方向性等について評価。

外部評価（外部評価者による評価）

外部の客観的・中立的な視点から、市の評価や今後の方向性について評価。

## 4 外部評価者（※略歴については別紙参照）

氏 名	役 職 等
あかし てるひさ 明石 照久	熊本県立大学 総合管理学部総合管理学科教授
ささき あきら 佐々木 央	株式会社富士通総研 公共事業部シニアマネジングコンサル タント

## 外部評価者略歴

### 明石 照久（あかし てるひさ）

熊本県立大学 総合管理学部総合管理学科 教授、元神戸市職員

2006年に神戸市を退職し、熊本県立大学に着任。現在、熊本県立大学教授。専門は行政学、地方自治、行政評価、まちづくり。

熊本市、水俣市、大牟田市、大野城市などで行政評価等の外部評価委員を歴任。

住民ワークショップのファシリテーターや自治体行政計画の策定などに携わっているほか、総務省が主に本府省等の職員を対象として開催する「政策評価に関する統一研修」では、地方公共団体における政策評価活用に向けての取組について講演を行っている。

### 佐々木 央（ささき あきら）

株式会社富士通総研公共事業部 シニアマネジングコンサルタント

主に地方公共団体及び中央官庁の行政評価制度導入・行政改革・総合計画策定等の行政経営改革、産業振興計画策定、情報化計画策定、ITを活用した地域活性化、環境マネジメントシステム・環境会計導入、物流施策や都市交通・地域計画等の都市政策などに関するコンサルティング及び受託調査業務に従事。

亀山市、大牟田市、大野城市などで行政評価等の外部評価委員を歴任。

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）や市町村において、行政評価を始めとする行政経営に関する研修の講師を務めている。